

令和7年度第1回川西町高齢者福祉・介護保険運営協議会における議事の結果

1. 第1回川西町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進委員会

委員からのご意見及び事務局等回答
<p><u>(ご意見)</u></p> <p>第8期はコロナ渦で、サービス利用控えで給付費が落ちているとあるが、総給付費は減っておらず順調に伸びている。計画値では増えていくという予想をしたが、コロナの影響で計画値よりは下がったけど、実績値はそんなには減ってないように見受けられる。</p>
<p><u>(回答)</u></p> <p>第7期および第8期の計画値に対して実績値を見ると、対計画比は下回っていますが、令和4年を除いて、総給付費は増えていっています。計画値ほどの増加ではないが、実績値は概ね増えている状況です。</p>
<p><u>(ご意見)</u></p> <p>施設サービスが減少し、在宅サービスが増加しているとあるが、コロナの影響で外出を控えるようになった高齢者が、長期間ずっと家にいるわけにもいかないので、令和4年まではずっと家にいたが、もう大丈夫だろうからデイサービスにも行こうかということで、在宅サービスが増加したのではと考えられます。</p>

2. 第1回川西町地域包括支援センター運営協議会

委員からのご意見及び事務局等回答
<p><u>(ご意見)</u></p> <p>まるっと相談というシステムについて、地域包括支援センターがその一翼を担っておられて、非常にいいシステムと思っています。そこで、地域包括支援センターが関わっている範囲でその状況と成果を教えてください。</p>
<p><u>(回答)</u></p> <p>まるっと相談については、令和6年度から重層的支援事業が開始になったことで始めた事業です。これは相談の中で複合的な課題の方が増えてきた現状もあり、町の福祉部局が連携して対応できるようになっています。令和6年度は月に1回、「おくやまテラス」で開催していましたが、PRが不足している部分もあり、相談件数としては多くありません。令和7年度は、地域に出向いてPRも兼ねて行う必要があるということで、各大字を回らせていただいたり、隔週で「おくや</p>

まテラス」で相談会を実施しています。

(回答)

よく伺いするのは、行政は縦割りでこれはうちの担当課ではないというところを、相談を受けて各課に繋いだり、福祉で解決できるところは関係者が集まって、複合的に横断的に対応するというのが一つの目的と聞いており、住民の皆様にとって良いシステムと考えています。

(ご意見)

困っておられる方々が何を相談していいかわからないような状態、それを拾い上げていくということも非常に大事なことで、地域包括支援センターの今後の活動に期待しています。

(ご意見)

相談件数を見ると非常に数多い相談があります。報告では極めて淡々と全て順調にされ処理されてるように聞こえてますが、実際に困ってることや処理が難しいことがあると推測します。どのようなことがありますか。

(回答)

相談の中にはうまく事業に繋がったり、介護保険のサービスに繋がったりして進んでいけるものもあれば、内容によってはとりあえず見守りをしていきたいと思いますというような形で経過を見ていく方もおられます。そこが一番大変で、どこまで見守りを行っていくのか、モニタリングといっても経過観察をどの程度していくのかというのが難しいと思っております。また最近、精神的に課題を抱えておられる方の支援について、病院や関係者の方と連携しながら進めているところですが、その一歩踏み込むことが難しいと感じています。

(回答)

支援できることがあれば、寄り添いお話を伺いするのも一つ重要な役割と思います。職員が話を聞いて、それがサービスやいろいろなシステムに繋がられるものは努力してくれておりますが、すぐに答えがでるものはなかなかないので、地域包括支援センターを直営で役場の中に置き、住民さんの不明な点や心配事の相談を受ける、そのような体制で平日頃やってくれていると考えています。

(ご意見)

一生懸命やっておられるのは結構なこと、ご苦労がいっぱいあるだろうと思

います。寄り添って話を聞くというのは時間もかかるし、忍耐力がかかる大変なことだと思います。

(回答)

補足ですが、地域包括支援センターで受けた相談で、複合的な問題を抱えているということで、フレイルな状態であり、かつ、精神的な課題もあって、その問題を解決していくのが困難だったということですが、まるっと相談室は相談を受けるだけではなく、受けてどんなところに困り感があってどんな課題があるかというところを整理して、関係者が集まるシステムも兼ね備えている組織体制になります。すぐに集まって課題を共有し、所管課の解決策を持ち寄って、解決策をチームで考える、仕組み作りができているとっており、もっと活発に活用していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(ご意見)

令和6年度の取り組みで、実績値はきちんと載っていますが、それぞれにおける課題や、その対応もされてると思います。記載について、それぞれの事業課題やそれに対する取り組みを次年度どうしてくか、どう改善していくかというところを記載すると非常にわかりやすいものになると思います。

先ほどまるっと相談という言葉が出てきましたが、その言葉が資料の中には見当たらなかったの、素晴らしい取り組みをされているため、この資料の中に文字として落とし込むとより分かりやすいものになると思います。一つ一つ書くということが難しい項目については最後にまとめるなどの書き方でもいいと思いますし、そういうのがあれば非常にわかりやすいのではないかと思います。

(ご意見)

まるっと相談室について、町から提案があり結崎駅前のあおぞら交流広場に、9月と3月にブースを一つ設けて、そこで対応する話になっています。役場まで来てもらうというのは敷居が高いので、気軽に相談していただく、その場ができるということでよい機会と思っています。

(回答)

始めはスーパーおくやまの「おくやまテラス」で始めた事業なんですが、相談件数はそんなに多くないということで、あおぞら交流広場でブースを設けて、地域の声をお聞かせ願うということで、敷居を下げてやっていこう、相談しやすい体制でやっていこうと考えています。

(ご意見)

成年後見制度について、令和4年度は63件と件数が多いのですがなぜでしょうか。

(回答)

これは延べ件数になり、成年後見制度について令和4年度に1件のケースで何度もやり取りをし、中和福祉事務所であったり、弁護士であったり、いろんな方と連絡を取って対応したケースです。記録を全て入力して登録しており、延べ人数になりますので、その分対応が多かったという形になります。